

・・・明日は明日の風が吹く・・・

民生委員をしていると、市が実施する4カ月児検診のお手伝いに行くことがある。

健診中に手助けが必要な人、例えば多胎児を1人で連れてきている親の荷物の移動を手伝ったり、兄弟児の遊び相手などをするのである。

先日お手伝いをした時に、兄弟児を連れのお母さんがいたので、上の女兒を預かって、遊び相手をしていた。絵本を読み聞かせていると、くまさんの話が出てきた。その子が、「私、くまのプーさん買ってもらうんだよ」と話したので、「いいね、うらやましいな」と応じると、「でもね・・・ママがいつも あしたね！ って言うの」と言った。返答に困って、苦し紛れに「くまさんもおうちに行くの楽しみにしているよ」とごまかして、絵本のくまさんの話はNGなので、急遽おままごとに取り替えた。

その子が帰った後、くまさんのぬいぐるみを買わないとは言っていない、かと言って買うと確約している訳ではない「あしたね！」という言い方に感心していた。

そして、あの子に明日は訪れるのだろうか？ 来ることのない明日を待っているのだろうか？ などと考え始めていたら、「あした」という言葉にまつわる記憶が蘇ってきた。

まず思い浮かんだのは、小学生のころ、浜辺の歌という唱歌を歌うとき「あした 浜辺をさまよえば、昔のことぞ 忍ばるる」という歌詞にいつも納得がいかなかったことである。未来のことを仮定しているようで、詩の意味している事が分からなかった。しばらくして、「あした」とは朝のことであり、むしろ「明日」はそこから転じた言葉で、語源は「あくる(明)ひ(日)」、「夜が明けた日」からきていることを知って、いたく納得したので思い出す。

しかし、何ととっても、強烈に記憶にあるのは、映画で見た「風と共に去りぬ」の最後のセリフである。マーガレットミッチェルのベストセラーをピピアン・リーとクラーク・ゲブル共演で映画化、南北戦争前後のアメリカ南部を舞台に、炎のように激しく美しいスカーレット・オハラを激動の半生を壮大なスケールで描いた作品で、御覧になった方も多いのではないかと思う。

制作されたのは1939年で、1940年第12回アカデミー賞で10部門に輝いた不朽の名作である。

日本での公開は1952年らしいが、何度もリバイバル上映されたので、学生時代に、何度か映画館に足を運んだ。覚えている方もいると思うが、最後のシーン。

スカーレットは心の底で思い続けていたアシュレーが、その妻メラニーの死に直面した時、彼が心の底からメラニーを愛していたことを知って、ふと自分の中に愛情の無い結婚相手であったはずのレット・バドラーへの愛が芽生えていた事に気付く。しかし、レット・バドラーは思い人アシュレーとの間に障壁が無くなったので、スカーレットが思いをとげるものと考えて、行かないでと懇願するスカーレットを振り切って去っていく。

そしてスカーレットが泣きはらした顔をあげて言う最後のセリフ

Tara Home(タラがあるわ、故郷よ)/ I'll go home (故郷に帰るの)/ And I'll think of some way to get him back(そして彼が戻ってくる方法を考えるわ)/After all・・・Tomorrow is another day(そうよ、明日は明日の風が吹くわ)

Tomorrow is another dayは直訳すると(明日はほかの日)だが、(明日は明日の風が吹く)と訳するのが一般的だった。しかし、タラに帰って彼を取り戻す方法を考えると言っているのに、「明日は明日の風が吹く」では成り行き任せで、なにか違和感があった。しかし、2度目に映画館に足を運んで、物語の終焉の感動に浸っていた時、ふと字幕を見て、また感動を新たにした。

そこには「明日に望みを託して」と浮かび上がっていたのだ。

さて、あの子の明日にくまさんが訪れますように。 そしてあなたにも・・・

TOMORROW IS ANOTHER DAY

校区住民協 理事(書記) 森戸 久朝
(久木地区 民生委員)

令和6年1月度役員会

開催日時と場所：2024年1月6日(土) 13

議題

(1) 事務局からの報告事項

① 逗子市住民協意見交換会の件

1/19(金)に首題の会議が開催される。出席は4名まで可能なことから、会長、事務局に加え、細野氏、瓶子氏に参加要請があった。

また、意見、質問事項について事前に提示することが求められ、〇地域自治条例(住民協条例)及び

(2) 審議事項

① 今期住民協活動についての確認

下記が確認された。

・2月までに、「住民協ひろば特別号」を全戸配布する。

・総会を5月の連休明けに予定し、3月から準備に取り掛かる。

・各自治会の役員異動の確認、住民協組織の調整を行う。本件に対し、前広に情報を事務局に連絡するよう要請された。

・各部会のリーダーの確認・調整及び来期活動案の策定

② 令和6年度、「地域づくり交付金交付要望書」について

配布資料②に基づいて、来年度の地域づくり交付金の要望内容について説明があった。

内容は令和5年度とほぼ同じだが、「地域づくり事業経費」の内、防災に係る事業経費は1件申請

を見送り、3万円減とした旨説明された。

③ 「住民協ひろば特別号第7号防災特集」について

本日の役員会終了後、編集会議が担当者を参集して開催されることが報告された。

また、素案がまとまった段階で、役員会での了承を求める予定であることが説明された。

尚、印刷会社に確認したところ、発行予定日が2/16であれば、2/5までに原稿の提出が必要との情報があったことが報告された。

時00分～14時15分 久木会館 参加者：18名(内役員13名)

B.C.P(事業継続計画)について質問項目として提示したことが報告された。

② 今期中講演会の実施について

講演の候補としては、「環境問題」または「逗子市地域福祉推進計画・逗子市地域福祉活動計画」についての2点で、適当な講演者を吟味し、依頼する予定であることが報告された。

④ その他

a) 能登地震に関する雑感

まだ全貌が明らかではないが、1/1日に発生した能登半島地震に関し、各委員から下記のような雑感が披露された

・SNSでのデマの拡散状況に鑑み、災害時の情報伝達手段を予め確立しておくことの重要性を改めて感じた。

・家の倒壊、液状化を目の当たりにすると、在宅避難だけでなく、避所の重要性を改めて認識した。

・水の確保が困難な状況を見ると、地域にある防災井戸の確認、住民周知が重要であると感じた。

・東京都では作成されているが、液状化に関するハザードマップの作成を行政に求めていく必要がある。

・長期避難が予想される事態に備えて、対策の整備が必要である。

・障害者を含めた災害弱者への避難所受け入れ態勢の整備・周知が必要である。

・ハイランド地区も含め、支援物資のスムーズな搬送などにつき検討しておく必要がある。

・南海トラフ地震が発生した場合、関東の広い範囲が被害にあうので、近隣からの支援は期待できない、地区内での自助、共助、公助の在り方を検討しておく必要がある。

《連載》 久木朝市ひろば 【ジオメトリカ】

geometrica(ジオメトリカ)という屋号で活動しているヒンメリと刺し子のつくり手の中村千乃です。ヒノ刈とは麦わらで作られてた北欧のモビールの工芸品で、近年クリ

中村千乃(山の根在住)

スマスの装飾品などでも見かけるようになりました。また刺し子は布の補強、防寒等から始まった伝統的な刺繍の一つです。ともに直線的な幾何学模様(ジオメトリック

ク)が多く使われており、そのモチーフに
ひかれたため屋号としました。

もともと手を動かすのが好きで、子育てし
ながら隙間時間にチクチク。髪留め、上履
き袋、娘の家庭科の裁縫道具に入れる針
山、弁当袋、箸袋、我が子の必要なもの
を作っているうちにどんどん刺し子の作品が
できていきました。

またヒンメリはもともと北欧のものが好き
で、窓辺に揺れるヒンメリの作品を見て、
作ってみたい!と思ったのがきっかけで
す。ヒンメリの揺れる姿、ヒンメリの落す
影をぼーっと見ていると心が癒され、忙し
く過ごす方々が一呼吸、ふっと微笑める時
間が得られればと思いを込めて、作品を作

っています。

普段は久木朝市、市内のイベントなど不定
期に出店し
ています。

ご要望があ
ればワークショップ
などもし
ていますの
で、是非お
声がけくだ
さい。



IG:geometrica.himmeli.sashiko
中村(山の根1丁目)

《レポート》 カーボンニュートラル(続)

18. GX(続)

③GX実現に向けた基本方針(続)

(1). エネルギー安定供給の確保を大前提にしたGXの取組み(続)

⑧資源循環	
<p>動静脈連携による資源循環(注1)を加速し、中長期的に弾力性ある資源循環市場の創出を支援する制度を導入する。</p> <p>循環に配慮した設計の推進、資源循環に資する設備導入等の支援や、デジタル技術を活用した循環度やCO₂排出量の測定、情報開示等を促す措置にも取り組む。</p>	<p>(注1)動脈(産業)とは天然資源から製品を生み出す産業、静脈(産業)とは、廃棄物を回収処理し、再資源化する産業を言う。双方のバランスをとることが大切で、その実践として3R(Reduce:使う資源やごみの量を減らす、Reyuse:ものを繰り返し使う、Recycle:使い終わったものを資源として再利用する)が求められる。</p>
⑨運輸部門のGX	
<p>★次世代自動車:省エネ法で導入されたトップランナー制度(注1)に基づいて電動車の開発・性能向上を促進するとともに、充電・充電設備、車両からの給電設備等の整備についても支援する。</p>	<p>(注1)省エネ法に基づく機器のエネルギー消費効率基準を策定する方法で、各々の機器で基準設定時に商品化されている製品の内「最も省エネ性能が優れている機器(トップランナー)」の性能以上に設定する制度。</p>
<p>★次世代航空機:2030年代までの実証機開発やSAF(注1)の製造技術開発・実証、低燃費機材の導入、運航の改善等に取り組む。</p>	<p>(注1)持続可能な航空燃料(Sustainable Aviation Fuel)で今は廃食料油から作られている。</p>
<p>★ゼロエミッション船舶、鉄道、物流・人流については省略</p>	
⑩脱炭素目的のデジタル投資	
<p>デジタル化や電化等の対応に不可欠な省エネ性能の高い半導体や光電融合技術(注1)等の開発・投資促進に向けた支援の検討を進める。情報処理の基盤であるデータセンターについては、今後、省エネ法のベンチマーク制度(注2)</p>	<p>(注1)電子によるデータ処理と光による通信伝送のそれぞれが担う役割を融合させることにより、消費電力を桁違いに低減させるとともに、データ処理の超高速化を可能にする革新的技術で、IOWN(Innovative Optical and Wireless</p>

<p>の対象の拡充等により、省エネ効率の高い情報処理環境の拡大を目指す。半導体については、継続的な生産や研究成果の社会実装を企業にコミットさせることで、GXを実現するための成長投資を行う。</p>	<p>Network) 構想と呼ばれ、NTTが開発を進めている。 (注2)事業者の省エネ状況を業種共通の指標を用いて評価するもので、各事業者が目標(目指すべき水準)の達成を目指し、省エネ取組を進める制度</p>
<p>⑪住宅・建築物</p>	
<p>2025年度までに省エネ基準適合を義務化し、2030年度以降の新築のZEH(Net Zero Energy House)(注1)・ZEB(Net Zero Energy Building)水準の省エネ性能確保やストックの性能向上のため、省エネ性能の高い住宅・建築物の新築や省エネ改修に対する支援等を強化する。あわせて、省エネ法に基づく建材トップランナーの2030年度目標値の早期改定・対象拡大を目指す。また、建築基準の合理化や支援等により木材利用を促進する。</p>	<p>(注1)家庭で使用するエネルギーと、太陽光発電などで創るエネルギーをバランスして、1年間で消費するエネルギーの量を実質的にゼロ以下にする家。日本国内の全エネルギー消費量の13.8%を住宅が占めており(2015年度)、全体の省エネに大きなインパクトがある。</p>
<p>⑫インフラ</p>	
<p>空港、道路、ダム、下水道等の多様なインフラを活用した再エネの導入促進やエネルギー消費量削減の徹底、脱炭素に資する都市・地域づくり等を推進する。産業や港湾の脱炭素化・競争力強化に向け、カーボンニュートラルポート(CNP)(注1)の形成推進や建設施工に係る脱炭素化の促進を図る。</p>	<p>世界的にサプライチェーンの脱炭素化に取り組む荷主が増える中、海陸の結節点である港湾においても、荷主や船社・物流事業者の要請に対応して港湾施設の脱炭素化に取り組み、競争力を強化していくことが必要である。また、港湾・臨海部にはCO2を多く排出する産業が立地しており、港湾において、水素等へのエネルギー転換に必要な環境整備を行い、これら産業の脱炭素化を後押しすることも必要である。 このため、国土交通省では、「2050年カーボンニュートラル」等の政府目標の下、我が国の産業や港湾の競争力強化と脱炭素社会の実現に貢献するため、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化や水素・アンモニア等の受入環境の整備等を図るカーボンニュートラルポート(CNP)の形成を推進している。</p>
<p>⑬カーボンリサイクル/CCS、他・・・次号掲載予定</p>	

鈴木 為之(山の根在住)

編集後記

サラリーマン川柳：年が明け、昨年のサラリーマン川柳の代表作は何だろうか気になって調べてみた。第一生命が募集し毎年発表している。最近は「わたしの川柳」と名を変えて実施されている様であるが、時代を反映して皮肉っぽく、ユーモアに溢れていて私は毎年密かに楽しみにしている。2023年度1位の作品は「また値上げ 節約生活 もう音上げ」である。また、コロナ期の2020年の代表作が「会社へは来るなと上司 行けと妻」である。歴代、私が一番気に入っているは「プロポーズあの日に帰って 断りたい」である。誰が作者か知らないが何とも面白い作品である。最近、別の団体が「シルバー川柳」なるものを募集、発表していてこれがより自虐的でユーモアたっぷり面白い。「インスタバエ 新種の蠅かと 孫に聞き」、「パンツから乗り換えたのは車椅子」。今年はどうな川柳が登場するのだろうか。

事務局長 石井 達郎